

令和4年度地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業（DMO 枠） 北海道ニセコ 夏にオープントップバスを45日間運行！3,883名が乗車

令和4年度北海道観光振興機構「地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業（DMO 枠）」の一つ、「ニセコエリアにおける二次交通の強化とエンターテイメントバス実証運行事業」（事務局：一般社団法人倶知安観光協会）では、ニセコリゾート観光協会と共同で今夏の本格的な観光再開を目指し、日の丸自動車興行（東京）からオープントップのバスをリースし地元バス会社で運行する「スカイバスニセコ」を7月15日から8月28日まで45日間の運行を無事に終了しました。

初年度の乗車人数目標を2,000名に設定した結果、3,883名（目標比：194.2%）の乗車となりました。



スカイバスニセコ（7/15-8/15 は2台で運行）ウェブサイト <https://skybus-niseko.com/>

乗車券はデジタル化に対応し全体の35%がスマートフォンからの購入で、割引対象の町民の乗車は618名（全体の34.4%）であった。倶知安町民は22%、ニセコ町民が10%で札幌圏を中心に道内からの乗車が7割を占める。これは第7波の影響でプロモーションをマイクロツーリズムに切り替えて札幌を中心とした道央圏へのSNS 広告などが奏功し、都道府県を跨る道外客は27%に留まった。

「そらの観覧車を楽しむ夏」のコンセプトで、「観光目的」の乗車が多く、マイカーを乗り換えて乗車したり、地元からの乗客は家族での温泉利用など移動目的での利用もあった。

スカイバスニセコは真っ赤なボディが特徴で屋根が無いことから、バスを見て乗ってくる方も多く「知人・友人の口コミ」で乗った方が多かった。

価格については61%が「ちょうど良い金額と思った」、21%が「安いと思った」と答えている。これまで「夏のくっちゃんナイト号」は無料運行であったが、「ニセコナイト号」として延伸し付加価値を持たせることで、有料による持続的運行の可能性も見出すことができた。

バスに搭載した音声ガイドシステムについても、観光客のみならず地元住民も知らないことを紹介しており、93%が満足している。保安要員兼アテンダントとして乗車したガイドも98%が満足し高い評価を得ている。利用者アンケートからは100%「継続を望む」の結果が出ており、今後の継続へ向けて検討する。

■スカイバスニセコ■（運行バス会社：ニセコバス株式会社/道南バス株式会社）

実施期間：2022年7月15日（金）～2022年8月28日（日）45日間

乗車料金：大人1,200円 小人600円（乗車券3回分+特典付き）

予約不要の電子決済システムを導入（スマートプレート：TFHD digital 株式会社）

【事業協力】北海道観光振興機構 北海道旅客鉄道株式会社 倶知安町 ニセコ町



■お問い合わせ先

一般社団法人 倶知安観光協会（事務局長：鈴木紀彦）

〒044-0078 北海道虻田郡倶知安町樺山41-5 サンスポーツランドくっちゃん

TEL：080-3239-1347 Mail：info@niseko.co.jp

web サイト：<https://skybus-niseko.com/>

スカイバスの車輛画像をメディア提供しますのでお気軽にお問い合わせください